

あ い さ つ



年頭のごあいさつ

愛西市議会議長

加賀 博

市民の皆様には、健やかに初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃から市議会活動につきまして、温かいご支援と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、アベノミクスや2020年夏季五輪の東京開催決定など、景気の好転の兆しが見えた1年でございました。しかしながら、デフレからの脱却や震災からの復興など、引き続き困難な道のりが続いております。本市においては厳しい財政運営を余儀なくされており、効率の良い市政運営を念頭にした取り組みが必要であります。

分庁舎による無駄を解消し、耐震改修によって安全性を確保することを目的として統合庁舎建設工事が着工いたしました。将来の財政負担を考慮し、諸課題に取り組む責務を再認識いた

してまいります。

議会だよりでは、議会における各議員の賛否を一覧にまとめて、昨年の5月号から掲載しております。引き続き、手に取っていただける議会広報に取り組んでまいります。

本年は、4月に市議会議員選挙がございます。議員定数は20名に減り、よりいっそう各議員の責任は重くなります。今後、市議会が市民の皆様への負託に応えられるよう、議会の積極的な改革に取り組み、愛西市が更に魅力のある市として発展するため、市民の皆様の声を大切に、努力を重ねて参ります。

本年もまた市民の皆様への議会に対する深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。幸多い年でありませうご祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。



謹賀新年

愛西市長

日永 貴章

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成26年の初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、伊豆大島やフィリピンなど世界各地で痛ましい災害に見舞われた一方、あいちトリエンナーレの成功や2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定するなど、未来に光が射し込むような明るいニュースも数多くありました。

我が国の経済状況は、上向きといわれるものの、景気回復の実感はいまだ地域経済に浸透しておらず、デフレ脱却も道半ばとなっております。本市の財政に目を移せば、依然として厳しい

状況が続いているのに加え、合併特例による国の財政措置も段階的に減っていくことが確実に予想される今、将来を見据えた行財政改革が必要となつております。そのため、「すすめる決断」とどまる勇氣をもつて、事業の再検証を進めてまいります。

統合庁舎建設につきましては、今年から工事が本格的に始まります。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆様とともに、「よりよい愛西市」の実現に邁進してまいります。一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、市民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。